

地域安全事業実施(完了)報告書

助成受給団体	特定非営利活動法人 ふよう土2100
事業の名称	じゃんがら念仏踊り継承育成事業
実施期間	平成24年8月～9月
事業内容 いわき市には「じゃんがら念仏踊り」という伝統芸能があります(沖縄のエイサーのルーツとも言われる)。 鉦、太鼓を打ち鳴らしながら新盆を迎えた家などを供養して回る踊り念仏の一種であり、市内では単に「じゃんがら」と呼ばれ親しまれています。 主に8月13日から15日までの3日間行われ夏の風物詩となっています。 東日本大震災は避難や道具の被災など「じゃんがら」にも大きな影響を与えました。 今回の事業では「子供じゃんがら念仏踊りセミナー」の開催と、道具の購入により普段触れることのない伝統芸能の道具を直接触り、実際に体験する機会をつくりました。 その際に踊りや歴史など知識のレクチャーなども取り入れ伝統芸能を通して、地域との連携も深めました。	
成果 夏の時期、いわき市では当たり前のように聞こえてくる「じゃんがら念仏踊り」。 子供たちにとって身近な伝統芸能ではあるのですが、今までは参加したり道具に触れる機会はありませんでした。 今回9月に2回開催した「子供じゃんがら念仏踊りセミナー」で実際に道具に触れることにより、普段見たり聞いたりしていただけた伝統芸能への興味がさらに大きなものになりました。 さらに地域に根付いた伝統芸能について知識を深めたり参加できたことで、将来はそれぞれの地域にあるじゃんがら団体の担い手となる子供も出てくることと思います。	
今後の課題 今後も「じゃんがら念仏踊り」という伝統芸能を守り続けていくことを考えると、この事業を長期継続できる体制作りが必要です。 通年の活動をするための具体的な団体を設立するよう、教育委員会などを通じて小・中学校にも働きかけていきたいです。	

